

令和2年度、第1回在宅医療と介護に関する研修会 報告書

1 日 時 令和2年7月10日（金）19：00～20：30
（7月20（月）17：00まで視聴可能）

2 開催方法 Web 研修（YouTubeによる限定配信）

3 内 容

テーマ 「在宅医療・介護と新型コロナウイルス、私たちはどう対応したか」

第1部 講話「在宅医療・介護と新型コロナウイルス、私たちはどう対応したか

～坂ノ市地域包括支援センターの経験～

講師 坂ノ市地域包括支援センター センター長 原口 和之 氏

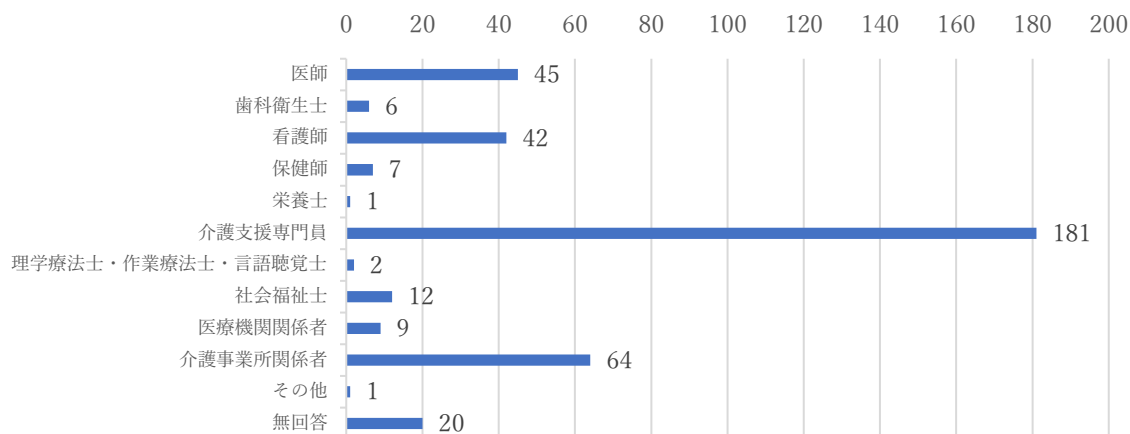
第2部 シンポジウム

座長 木下 昭生 先生	（明野中央病院 院長）	医師
小野 隆宏 先生	（ハートクリニック 院長）	医師
原口 和之 氏	（坂ノ市地域包括支援センター センター長）	社会福祉士
小川 剛 氏	（緑風苑介護保険サービスセンター 管理者）	主任介護支援専門員
今井 友紀子 氏	（訪問看護ステーションあいしん 管理者）	訪問看護師
脇坂 健史 氏	（大分大学医学部附属病院 総合患者支援センター）	医療ソーシャルワーカー
姫野 匡彦 氏	（特別養護老人ホーム百華苑 苑長）	施設長
小野 真理 氏	（ハートクリニック 在宅診療部）	看護師
吉良 早苗 氏	（植田西地域包括支援センター センター長）	主任介護支援専門員
大分市長寿福祉課	（オブザーバー）	行政

4 参加者数・内訳

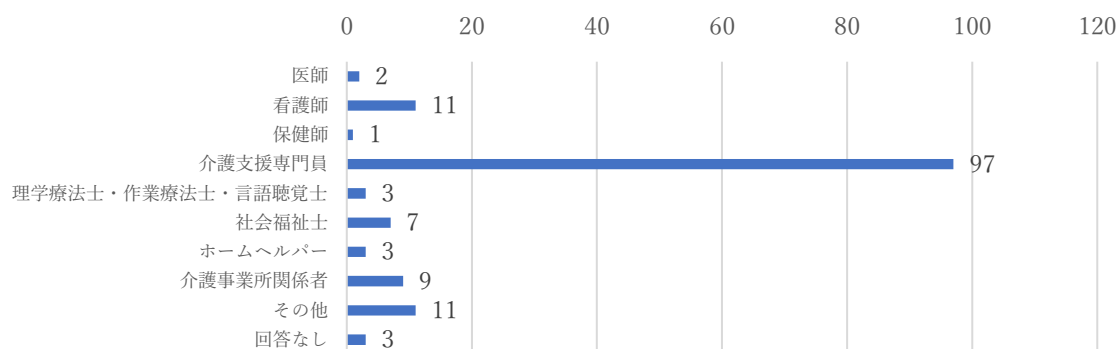
・申込み者数	390名	・視聴回数	910回
・施設数	178施設	・アンケート回答者数	147名

参加申込み390名（内訳）

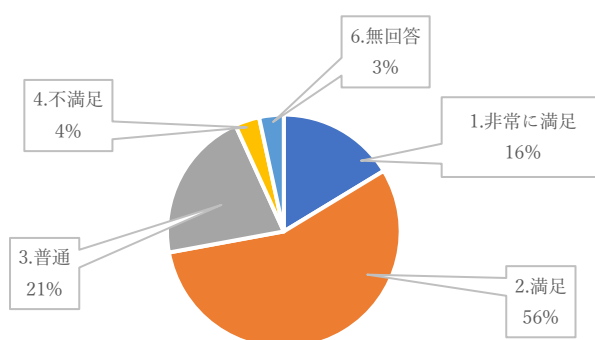


5 アンケート集計結果

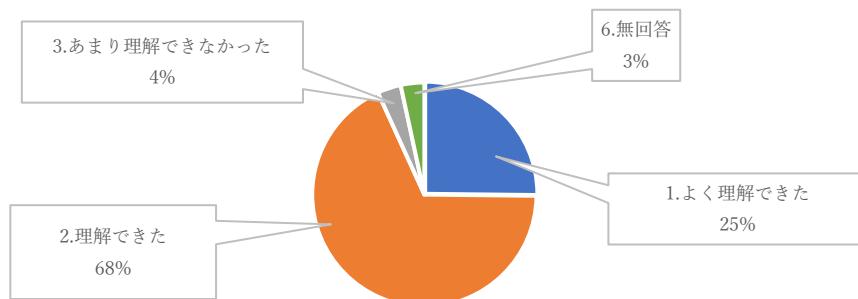
回答者147名（内訳）



問1. 本日の研修会はいかがでしたか



問2. 本日の講話内容はいかがでしたか



- ・手元に資料もあり話もゆっくりでしっかりと聞き取ることが出来ました。事態を予測して事前にシミュレーション、マニュアル作成等、準備していくことがとても大切だと思いました。万が一の時に慌てることのないよう、また外部の人も支援に入りやすいようにマニュアル作りは必要だと感じました。（介護支援専門員）
- ・シミュレーションをしていても予測できていなかった問題点等が出てくる。しかし、シミュレーションを行っていた事によって慌てずに対応出来たとのことで準備は大切だと思った。（介護支援専門員）
- ・新型コロナウイルス感染流行は必ず来ると考え、事前シミュレーションを早いうちから実施していたが、実際感染者が発生するとパニックになる。常に情勢を見極めながら都度マニュアルを変更していく柔軟な対応が必要になると感じた。（介護支援専門員）
- ・発生後の実際の動き、対応、取組み等、シミュレーションができていたとはいえ短時間での判断→施行の困難さ、大変さが伝わった。（介護支援専門員）
- ・シミュレーションしていたことが現実には起き同時進行のような形で感染拡大を防ぐことができたのは素晴らしいと思いました。空振りに終わっても早めの対応、必ず来るという意識が大事だと思いました。（介護支援専門員）
- ・個別対策、各部署での対策を明文化し、共有する事の重要性を再確認しました。（看護師）
- ・発生した際にしっかり手順を理解しておく必要があると感じた。（介護福祉士）

- ・自身の所属している事業所、施設に感染者を出さない事はとても重要なことですが、感染者が出た場合の事を考えシミュレーションやマニュアル作成することが重要と感じました。(介護支援専門員)
- ・感染者と濃厚接触者(職員)のランク、対応についてや風評被害の対応について知ることができた。マニュアル作成やシミュレーションを行う事で事前準備が出来ると思います。(看護師)
- ・実際に感染症の難しさや対応について、ご苦労された事が良く解りました。感染症が起きた事業所だけではなく地域、また職員さんの風評被害に悩まされ色々な場面で対応されている事が勉強になりました。(介護支援専門員)
- ・早々に対策本部を立ち上げ起こりえる状況をイメージし、施設スタッフが出勤できないときの対応マニュアル作成。風評被害に対して、現場の声をしっかり聞いてくれる体制が整えられたこと。医療と介護が連携していること。現場で働いている職員さんは心強かったと思います。また、とても羨ましく思いました。濃厚接触者の定義はとても分かりやすかったです。当事業所でも参考にさせていただきたいです。
- ・関愛会が前もってシミュレーションをしていた事に驚くと同時に心強く思いました。具体的な事は事業所として検討できていなかったのが早速話し合いをします(介護支援専門員)
- ・当施設でも感染対策は行っていますが、今の内容では不十分だと感じました。関愛会の対策内容をふまえ早急に見直したいと思います。(介護支援専門員)
- ・具体的な対策を伺う事ができ当事業所との取り組みの差を知る事ができました。(介護支援専門員)
- ・新型コロナウイルスへのシミュレーションなど対策を行っていたが、現実感染者が発生した際の対応の難しさが伝わりました。今後、第2波に備え事業所内で利用者や、各事業所と話をしながら必要な介護の優先順位など検討していきたいです。(介護支援専門員)
- ・新型コロナウイルスを想定しての前準備・計画をたてておく事で、実際に利用者様の周りでデイの休業や、ショートステイ受入れ停止が起こった時に落ちついて対応が出来ると思う。(介護支援専門員)
- ・事前準備(マニュアルの作成時、災害対策本部等の指示系統の設置)等の必要性を改めて感じた。居宅ももしもの対応を考えていきたい。(介護支援専門員)
- ・法人でのマニュアル作り勉強になりました。職員やその家族を守る事の難しさを改めて考えさせられました。(介護支援専門員)
- ・他施設、他事業所の対応スピードの早さ、法人としての指示系統が充実している点、とても参考になりました。(介護支援専門員)
- ・素早く自分たちのできる事などすぐにアプローチできてよかったです。早い対応が大事だなと思いました。(介護事業所関係者)
- ・感染の第2波が始まる事についてのシミュレーションや、事前準備の大切さ、PPEの着脱、備蓄等の必要性。(介護支援専門員)
- ・新型コロナウイルス感染発症からの対策の流れがよく分かりました。また表には出ていない風評被害の事や、周りへの影響の大きさにびっくりしました。(介護支援専門員)
- ・音声聞き取りにくく、具体性が欠けている感じがしました。(介護支援専門員)
- ・丁寧で分かりやすい講演でした。(介護支援専門員)
- ・講演は時間的には良かったと思うが、スライドが漠然としていて少し分かりにくかった。シンポジウムで少しずつ講演内容が理解できた。(保健師)
- ・時系列から対応手順の説明があり、分かりやすかった。(介護支援専門員)
- ・事例に基づいての講演だったので、とても参考になった。(介護支援専門員)
- ・事例があつて分かりやすかった。(社会福祉士)
- ・感染発生からの対応、濃厚接触者の定義や対策の指針についての考え方が分かり良かったです。参考にして活かしていきたいです。(ホームヘルパー)

問3. シンポジウムについてのご感想、ご意見等があれば、お聞かせください。

- ・第2波、第3波に備えて利用者さん、家族の意向確認は大切だと思いました。(介護支援専門員)
- ・医療崩壊、介護崩壊を防ぐための対応・対策、治療・延命の意向等でACPが重要になってくるという話が印象的だった。(介護支援専門員)
- ・小野医師から高齢者の感染は重篤になりやすい、このため前もって感染後は治療をどのようにするのか、「エクモ」を装着するかどうかの判断を早めに決めておくこと（ACP）が大事という言葉が印象的だった。また接触アプリの利用の話も。(介護支援専門員)
- ・各々の現場での現状や問題が聞けて参考になりました。マニュアル作成の重要さと、更新をしていかなければいけないという事を痛感しました。(介護支援専門員)
- ・本日のご講演・シンポジウムの内容と感染症対応Q&Aを基に当施設のマニュアルの見直しを早急に行いたいと思います。(介護事業所関係者)
- ・「備えあれば憂いなし」災害など様々なリスクを想定して、各職種がマニュアルを作成し、優先順位や現状に見える化する事で臨機応変な対応が出来るのだと学びました。医療と介護は様々な問題に柔軟に対応する事が当然だと思われているので、連携して対応するにも常日頃からそれぞれのリスクマネジメント力を高めておく事が大切だと感じました。(介護支援専門員)
- ・職員が濃厚接触者になった場合の応援体制をどのように作ってイけるか、単体の施設で出来るのか考えさせられました。(ホームヘルパー)
- ・有料など施設の対応もそれぞれに任されているところで、対応がバラバラで小野先生が話したように、ある程度統一された指針があると良いと思った。(介護支援専門員)
- ・他職種で大きな問題に対処していくことが大切だと感じた。災害だけではなく感染症発生時のBCPの作成が各事業所に求められていると感じた。(介護支援専門員)
- ・今後の第2波、第3波を考慮し、自分の利用者様が必要なサービスを受けられなくなった時にどう動くべきか？また今のうちにどう事前準備をしておくべきなのか等、自分の事業所はもちろん他事業所を交えて検討する機会を設ける事が出来たら良いと感じた。(介護支援専門員)
- ・災害時の連携や横のつながりを日頃から作る必要があると感じました。(介護支援専門員)
- ・多職種の意見が聞けて今後新型コロナウイルス感染に対して他職種との連携が益々重要になると感じました。それぞれ個別の対応、多職種での対応が出来るようにしていきたいと思います。(介護支援専門員)
- ・新型コロナウイルス感染に関しては1事業所での対応は難しく、行政、医療機関、サービス事業所、等の連携が大切であると感じました。「チーム大分」という言葉が出てきましたが、それぞれが協力して大分独自の対応方法ができると良いと思います。(介護支援専門員)
- ・チーム大分で地域（地域包括の活用）ごとのマニュアル化が出来たら良いなと思いました。(介護支援専門員)
- ・パネリストの役職などが画面に有ると職種による見解の違いなどが分かりやすいのではと思った。(介護支援専門員)
- ・大分市（行政の方）が最後まで意見を述べられなかった事が少し気になりました。今後、民間主導で動くには限りがあるように感じ、行政主導の感染対策チームが必要なのではと感じました。(介護支援専門員)
- ・家族が東京に3日間行って帰った後に2週間も訪問診療医、訪看、ヘルパーの介入が中止となり、全て家族が介護を担ったケースがありました。必要な支援が必要な時に受けられない苦しさ、悔しさをご家族は感じられておりました。(介護支援専門員)
- ・75の手引きや在宅医療連合会のQ&Aなどの資料情報や各職種の今後の検討課題などを聞き、自分も第2波が起きた場合の対応なども考える必要があると認識しました。新型コロナウイルス発生の際、患者様や利用者様が自宅待機扱いとなり各サービスを使えない状況に陥った場合の対応策の早期検討も必要ではないかと思っています。※特に独居の方に対して、3月の新型コロナウイルス発生時、自宅待機扱いとなった利用者があり、その際家族も疲弊し本人の精神状態も安定しない状況であったため。(介護支援専門員)
- ・事前のシミュレーション等、どの病院・事業所でも行っているとは思いますが、実際に発生した時に自分の事業所、自分自身がどう対応し行動できるのか冷静でありたいと思った。(介護支援専門員)

- ・今回は新型コロナウイルスでしたが、何事か問題が起こった時の職員の対応が大事（早急、及び慎重にしている事が）大切だと思いました。（介護支援専門員）
- ・シンポジウムに参加されている方々の事業所、病院での対応方法や現在どこまで話し合っているのか等、もう少し細かくお話を聞きたかった。（介護支援専門員）
- ・医療と介護のマニュアルが違う事は理解できた。しかし本当に感染が起こらない様にするためには、ワクチンや薬の開発が欠かせないと感じた。（介護支援専門員）
- ・大変参考になった。マニュアル作成、シミュレーション、多職種連携、「必ず来る」と思って行動することが大事であると思いました。自分たちが感染させないように日頃の健康管理に気をつけていきたい。
- ・職種によって、立場によって考えが異なることもあると思うがチームとして対応していく事が大切と感じた。（リハビリ専門職）
- ・各専門職種が集まると、違う角度からの質問等があり、おもしろかったです。又、風評被害等のメンタルケアもすごく重要だと思いました。（介護支援専門員）
- ・風評被害についてはもっと識りたいです。そこから逆に感染症への理解が深まると考えます。
- ・MSWとして直接的なケアはできないが、広報など必要な機関との情報伝達をしてスムーズな動きをとることが必要だと感じた。（社会福祉士）
- ・広い意味でのメディカルの方達の意見を拝聴でき、思いもよらない意見、考え方を知る事ができた。大変充実した内容であった。（介護福祉士）
- ・実際に対面しないと不明な事ばかりであるので、こういった会議の場で体験した内容や具体策等の意見を構築する事は大切だと思いました。二次災害等に予防の為、意識をもっていきたいと考えます。（介護支援専門員）
- ・風評被害など聞きづらい内容にもふれていただき、考える事ができました。（看護師）
- ・実際に新型コロナウイルスが発生した医療関係者の方の対応が聞いて良かったです。（ホームヘルパー）
- ・話し合う内容に対して時間が少ないと思います。（介護福祉士）
- ・せっかく各事業所の方が貴重な時間を割いてこの研修（シンポジウム）に参加しているので各々あらかじめ何か意見を持って参加していた方がもっと意味のあるものになったのでは…？と思います。（介護支援専門員）
- ・各部署での取り組みについて病院、通所等での経験を聞ければよかった。対応に幅がありすぎて戸惑ってしまった。（介護支援専門員）
- ・もう少し行政の方も積極的に話してほしかったです。行政側の意見も聞きたかった。（介護支援専門員）
- ・もう少し掘り下げた具体的な対策方法等、知りたかったです。（介護支援専門員）
- ・新型コロナウイルス時代のテーマを座長の木下先生の介入で異なる立場の専門職が質問し、講演発表の経験を可視化していく流れが良く満足して視聴できました。（介護支援専門員）
- ・他職種との意見交換は災害時の動きの確認が出来て良いと思います。（看護師）
- ・参加者1人1人に焦点をあてた発表のしかたで理解しやすかった。（介護支援専門員）
- ・事業所の中でリモート会議を真剣に考える機会になった。（社会福祉士）
- ・リアルタイムで質問できたりできればよかった。（看護師）
- ・視聴者のコメントが見られるといいと思いました。（介護支援専門員）

問4 今回の研修内容に関して、質問等があればお聞かせください。

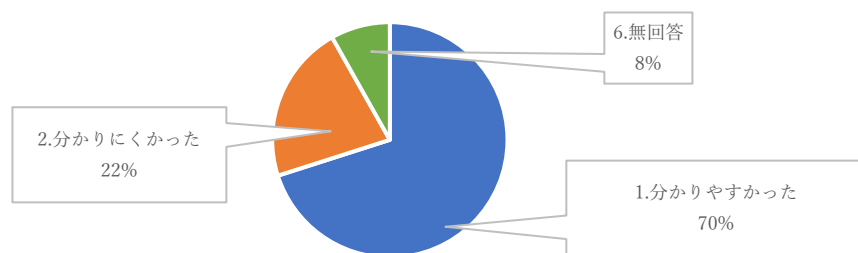
別途、回答させていただきます。

問5. 今後の研修内容についてご意見ご要望等があれば、お聞かせください。

- ・新型コロナウイルス、災害時の連携について、個々の状況における対応策。（介護支援専門員）
- ・災害時の対応について（災害時に医療と介護をどのようにつなげ対応していくのか）。（介護支援専門員）
- ・身寄りのない方、生活保護の方等が亡くなった時に葬儀や持ち物の処分費用 etc.を家主や関係していた事業者が背負わされるケースがあり行政の対応に違和感を感じます。明確な対応を図って欲しい。（介護支援専門員）
- ・今は秋冬に備えて備品やいろんな準備をしていく時と思っています。マスク、手指消毒剤、丈夫な身体づくり（自分たちも高齢者も）マニュアル等を備えていきたい。（看護師）
- ・初めての研修体系での取り組み大変だったと思います。今後「新型コロナウイルス」を受けとめ「新型コロナウイルス」と一緒に生活していくようになると思うと、この体系の研修のウェイトが大きくなると思います。全員が参加できる環境整備が求められると思います。どの程度対応可能なのか、対応するための知識がどこまであるのか？今の時点で把握することも大切かもしれません。年を重ねたケアマネさんにとってハードルになっています。（介護支援専門員）
- ・その後の対策本部の動きを知りたいです。Zoom の操作指導をお願いしたいです。（介護支援専門員）
- ・新型コロナウイルスだけではなく高齢者にも若者にもある感染症（結核、破傷風等）の例を出して、その予防について話を聞きたいです。（介護支援専門員）
- ・今回の様にタイムリーな情報を含めた研修が助かります。又、この会は医師の参加があるので医療現場での情報もあり、とても参考になります。（介護支援専門員）
- ・他の事例、感染対応された医療・介護機関があれば知りたいです。（介護福祉士）
- ・予診票の扱いについて、一度そのあり方、依頼の仕方など説明してほしい。病院から一方的に予診票の提出をケアマネに求められる場合が多く、家族が来所しただけなど、こちらが状態も分からない場合や入院中で入院前の状態しか分からない場合もある。本人や家族が本来記入するものという理解がないように感じる。（保健師）
- ・今後もこういった形で研修があると中止になってばかりなので、ありがたいです。（看護師）
- ・この様な形式でも良いので研修機会を増やして欲しい。（介護支援専門員）
- ・以前アンケートがあった主治医に医療系サービスの必要性を確認する際の指定様式について研修して欲しいです。（介護支援専門員）
- ・第2回「新型コロナウイルス対策」をして欲しい。例、利用者の家族が東京の方で帰省した時はどうしているのか、スタッフが県外をまたいだ時の対応等。（介護支援専門員）
- ・研修内でも出ていましたが、第2波に対するマニュアル作成を大分市内全域、大分県内全域の視点で考えた研修などにも参加したいと思います。（介護支援専門員）
- ・新型コロナウイルス感染が発生した他県の介護者が新型コロナウイルスに感染した時の介護支援専門員の対応等を知りたい。（介護支援専門員）
- ・今回の新型コロナウイルス感染のような身近で起こっている内容は関心が高いので、テーマとして取り上げて欲しいと思います。（介護支援専門員）
- ・新型コロナウイルス対策についての新しい情報があれば教えて頂きたいと思います。（介護支援専門員）
- ・感染症の専門家の講義等あれば有難いです。（介護支援専門員）
- ・災害時の医療と介護の連携。（介護支援専門員）

問6. Web 研修について

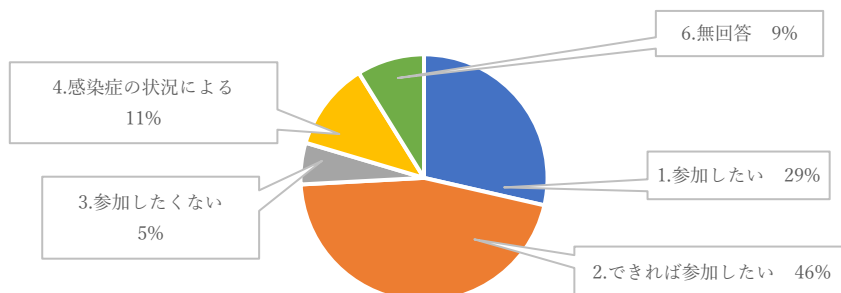
問6-①Web 研修への参加方法はわかりやすかったですか？



分かりにくかった意見

- ・アドレス入力が大変でした。もっと簡単にしたい。(介護支援専門員)
- ・パソコンの扱いに不慣れな為分かりにくかった。(介護支援専門員)
- ・QRコードがあれば良かった。(介護支援専門員)
- ・どこから、どういう風にアクセスすれば良いのか戸惑った。(看護師)
- ・普通のYouTubeで探せず視聴できるまでに時間がかかってしまった。(介護支援専門員)
- ・初めての経験で少し難しかったです。(介護支援専門員)
- ・私自身が初めての参加(視聴)でWeb研修に慣れていないため分かりにくかった。(介護支援専門員)
- ・使用する端末によっては視聴できなかった。(ホームヘルパー)

問6-②. 今後も Web 研修に参加したいですか？



問6-③. 研修の開催方法について、ご意見ご要望があればお聞かせください。

- ・不自然な点もありましたが、意外と身についた研修方法だと思いました。(介護支援専門員)
- ・集中して聞く事ができ大変良かったです。今後も Web 研修をお願いします。(介護支援専門員)
- ・1人1人の発言がはっきり聞かれる事や、繰り返し聞くことが出来る事が良かった。(介護支援専門員)
- ・日時が合わなくて参加できないという事がないので有難いです。(介護支援専門員)
- ・移動がない分、楽に参加でき他の事に時間を使えます。また、シンポジウムも内容が濃く感じました。1.25倍速で聞いて丁度良いテンポでした。
- ・今後も Web 形式は進めて行ってほしい。(保健師)
- ・今回のような形だと自由に見ることができ良かったです。資料提示をしていただけているので分かりやすく良かったです。(介護支援専門員)
- ・今回初めての事だった為、分かりにくかったです。感染症が終息しなければ毎回こうした Web 研修になると思うと不安になりました。(介護支援専門員)
- ・少し慣れていなかったなので、戸惑いました。画面に何人もなので目移りしました。(介護支援専門員)
- ・リモートのタイムラグが慣れないせいか気になります。やっぱり一堂に会して闊達な議論がじっくりくるなという印象です。(社会福祉士)
- ・密を防ぐためには Web 研修は良いですが、リモートでの参加となると環境が整っていなければ参加は難しいため事業所での課題となり難しいかと思います。(介護支援専門員)

- ・メリット……出向がなくても講義を受けられる所
デメリット…初めての試みなので慣れるまで少し違和感があった。(話す人と、口の動きが連動しにくい所)
できれば休憩を少しでも挟んで欲しいです。(介護支援専門員)
- ・初回なので大変だったと思います。今後も状況によっては必要な方法だと思います。事前に質問を受け回答していくという事もして欲しいです。(ホームヘルパー)
- ・今後はもっと広めていくと良いと思う。時間をコンパクトにして欲しい。テーマを絞れば聞きたい内容だけを聞けるので参加者が増えると思う。(介護支援専門員)
- ・QRコードがあつたりするとログインしやすくて良いのではないかと思います。(看護師)
- ・Web リモート中、発信資料を同時に画面上に出して頂ければ、より理解できると感じました。質問コーナーを参加者からもツイート等で出させて頂ければ、いつも会場で質問できなくても質問しやすいと感じました。(介護支援専門員)
- ・できれば字幕があるとなおわかりやすい。(介護支援専門員)
- ・シンポジウムで話し合うテーマを、文字で視覚的に画面に出して始めた方が、区切りもついて分かりやすかったと思います。今回、初めてWeb研修に参加しましたが、これも新しい生活様式という事で慣れていく必要があると思いました。(介護支援専門員)
- ・声が聞き取りにくかったです。こちらの環境の問題かもしれません。夜の研修等は家庭の事情で参加できないのでWeb研修はありがたいです。(介護支援専門員)
- ・新しい形での研修に取り組んだことは良かったと思う。出席された方が活発に意見交換できると良いと思います。(介護支援専門員)
- ・初めてのWeb研修開催だと思うが、トラブル少なく普段の研修と遜色なく機能の活用次第ではそれ以上の可能性があると感じた。(介護支援専門員)
- ・もう少し視聴できる期間が長いと、より多くのスタッフに見てもらえると思います。アンケートに送付先、FAX番号を入れてもらえると助かります。(社会福祉士)
- ・今回の方法で研修会としては良かったと思います。視聴期間もあり自分の時間にゆっくりと繰り返し視聴でき良かったです。研修資料も事前にダウンロードでき良かったと思います。(看護師)
- ・夜間実施の場合、参加が難しいけどWeb研修なら後日日勤の時間に視聴できるので良いと思いました。実際に自分でリモートするのは難しいと思う。(介護支援専門員)
- ・YouTubeで見られるというのが、とても良かった。空いている時間で参加出来る為。(社会福祉士)
- ・在宅で視聴できるWebツール研修を希望します。配信終了は今回と同様土日をはさんでもらえると、日中際視聴できるので助かります。(介護支援専門員)